



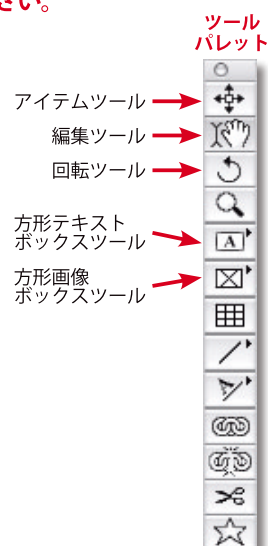
●レイアウトの実践

①台紙データを開く

必ず当社規定の台紙データを使用して下さい。

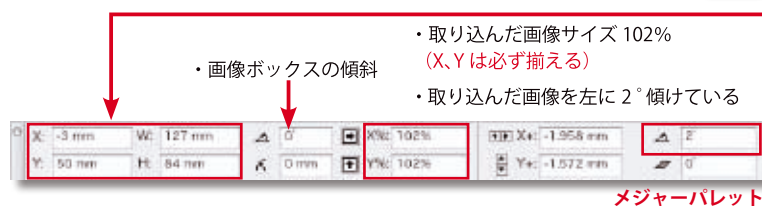
アルバムサイズ(※表1参照)に
合った台紙データを開く。

当社のレイアウトサンプルデータも
用意しておりますので、ご利用下さい。



②画像ボックスの作成

1. 方形画像ボックスツールで画像ボックスを作成。
2. 画像ボックスの位置座標(左上基点)のX(横方向)、Y(縦方向)やサイズ(Wが幅、Hが高さ)の数値をメジャーパレットに整数で入力。



③画像取り込み

1. 編集ツールで画像を取り込みたい画像ボックスを選択し、ファイル→画像取り込みで画像を選択、配置する。画像以外のタイトルやバック等も同じ手順で行う。(※裏面の表2参照) 当社のデジタルアルバムパターン集以外のグラデーションバックはQuarkXPressで作成する。

2. 編集ツールで選択し、メジャーパレットで取り込んだ画像サイズのX、Y%(X、Yの数値は必ず揃える)や、角度の数値を入力して拡大縮小する。

※拡大率は140%を超えると
画像が劣化、縮小率が50%
未満は必ずPhotoshopでリ
サイズする。(リサイズの方法は別紙「リンク画像の処理」参照)

3. 編集ツールで配置画像をドラッグしたまま、目的の位置まで動かしてトリミング。(※図1)

1～3の作業を繰り返し行い、レイアウトを完成させる。

表1 ダイビ標準サイズ一例
(見開き2頁分・単位/mm)

| | ドキュメントサイズ |
|------|-----------|
| 八切/縦 | 370 × 255 |
| 六切/縦 | 444 × 300 |
| 四切/縦 | 500 × 360 |

・他サイズの台紙データもございますので、
担当営業までお問い合わせください。

赤い点線(仕上がりサイズ)より外側部分
(天地左右各3mm)は
断ち落とされる。

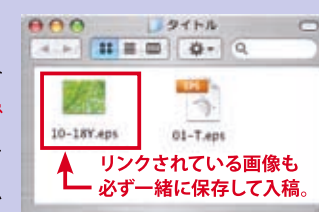
仕上がりサイズ
(赤点線部分)

例: ダイビ6切/縦/右綴じ



●取り込むタイトルやカット

タイトルやカット等の文字は取り込む前に、必ず作成したアプリケーションでアウトライン化する。(タイトルや白フチ文字等、詳しくはIllustratorのアルバム作成マニュアルを参照)

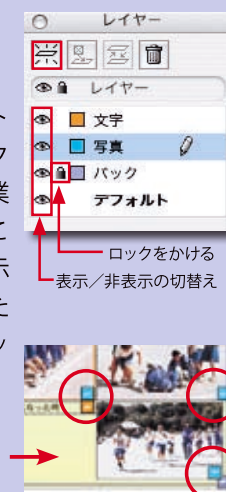


新機能

●レイヤーの機能・操作

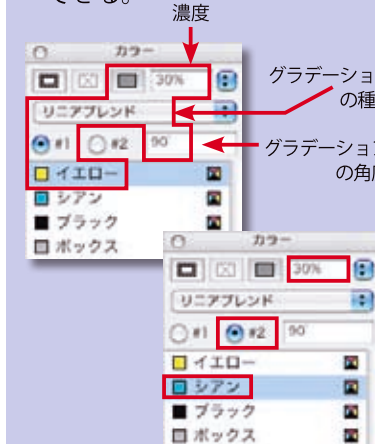
レイヤーとは、1つのアートワークの中で、オブジェクトの重なりを整理して作業できるようにした階層のことで、レイヤーごとに表示/非表示の切替えができたり、編集できないようにロックをかけることができる。

アイテムが配置されているレイヤーと同一色のビジュアルインジケータ(アイテムの右下に現れる小さな四角いアイコン)が表示される。

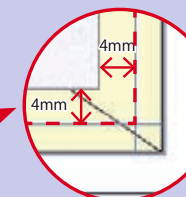


●グラデーションの作成

表示→カラーパレットで2色
までのグラデーションが作成
できる。



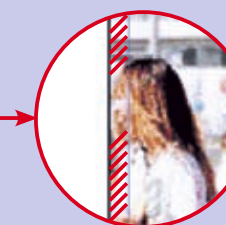
●オトシ処理をしない場合(内枠処理)



断裁時に多少のズレが生じることがあり、写真や文字等の断裁を防ぐために、必ず仕上がりサイズより天地左右4mm以上内側に入れる。(タイトル、文字、カット等含)

●オトシ処理をする場合

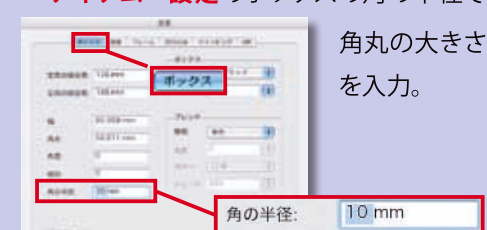
断裁時に余白が出るのを防ぐために必ず仕上がりサイズより天地左右3mm外側に出す。



また、赤斜線部分は裁ち落とされるので、顔が仕上がりサイズの4mm以上内側になるようトリミングする。

●画像ボックス四方角丸の設定

アイテム→設定のボックスの角の半径で



角丸の大きさを
を入力。

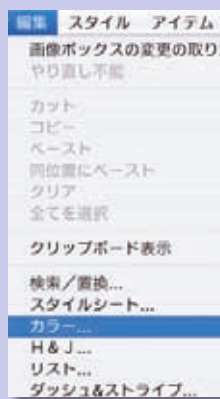
●文字の打ち方

右揃え センター揃え 左揃え
X: 223 mm W: 120 mm Y: 242 mm H: 8 mm 18 pt

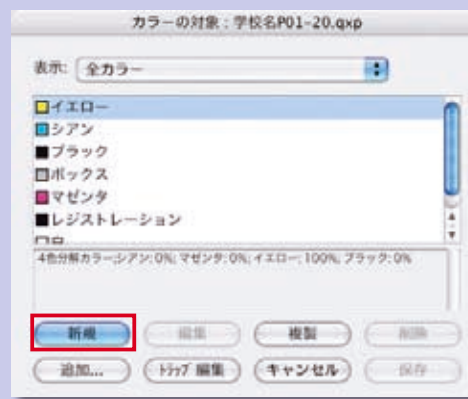
1. 方形テキストボックスツールでテキストボックスを作成、編集ツールで文字を入力。
2. 編集ツールで編集したい文字を「みんなが一つになった時」のように選択。
メジャーパレットで文字揃え、書体、pt(文字サイズ)を入力。(文字の色の変え方は裏面で説明) 必ずダイビ基本書体(別紙参照)を使用して下さい。
(QuarkXPressでは白フチ文字は作成できないので、Illustratorで作成し、取り込む。)

●カラーの作成

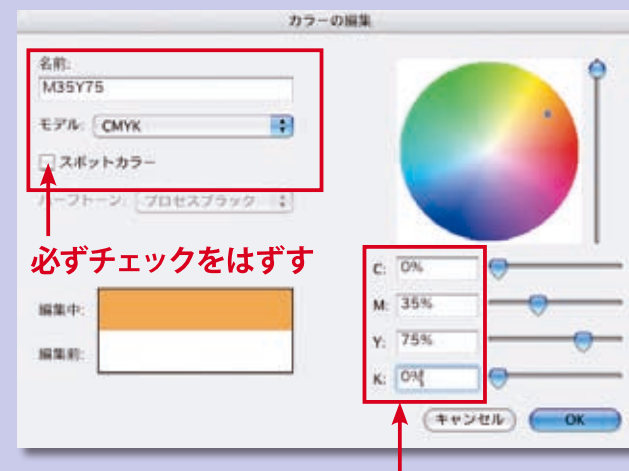
1. 編集→カラー



2. 新規をクリック



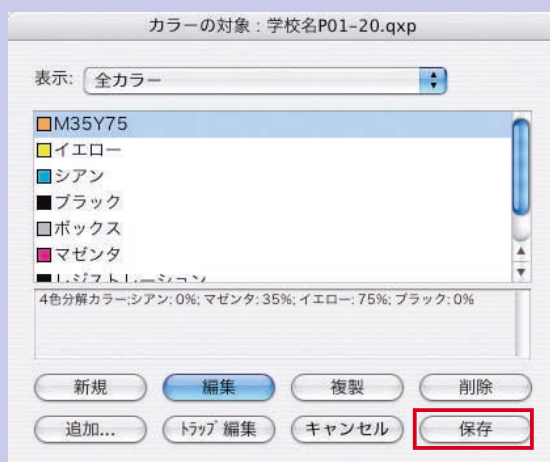
3. 各値を入力



必ずチェックをはずす

バックを黒ベタにする場合は K100%ではなく、
C40% M40% Y30% K100%にする。

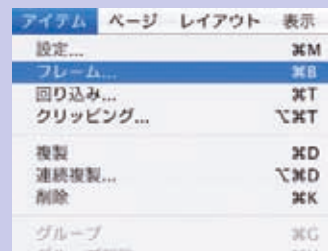
4. 保存をクリック



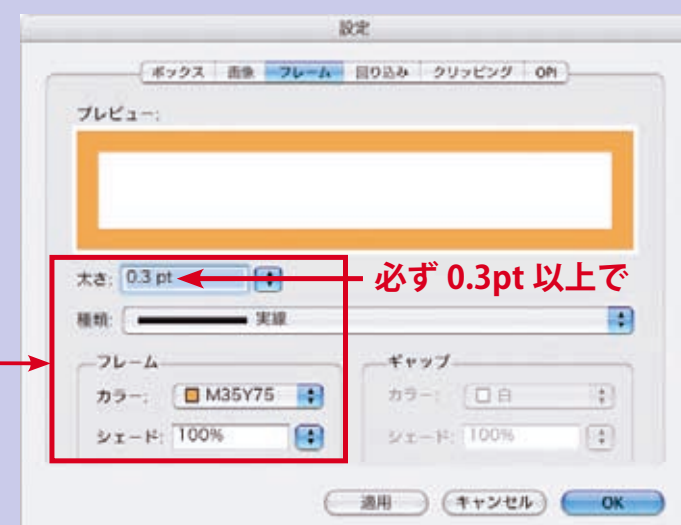
編集ボタンで作成済みの色の変更、名前等を変えることができる。

●フレームカラーの設定

1. アイテム→フレーム



2. 各値を入力



必ず 0.3pt 以上で

3. フレームに色をつけた場合は、必ず**トラップパレット**で**フレームの内側**と**フレームの外側**を各選択する。

フレームをカラーにした場合は、**ノックアウト**を選択する。



フレームをブラックにした場合は、**オーバープリント**を選択する。



●入稿前のチェック事項

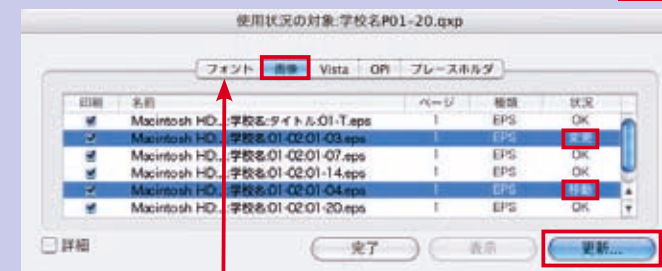
1. 各数値は全て**整数で入力**されているか。
2. **画像ボックスの色や余白**が見えていないか。
3. **セパレート**(画像と画像の空き)は**統一**されているか。
4. フレームの**太さが 0.3pt 以上**に設定されているか。
5. オトシ処理の画像ボックスが**仕上がりサイズより 3mm 外側**に出ているか。またその**オトシ部分に顔が入っていないか**。
6. 内枠処理の画像ボックス及びタイトル、カットが**仕上がりサイズより最低 4mm 以上は内側**に入っているか。
7. **センターライン**に顔や文字がかかっているか。
8. 使用カラーが全て **CMYK** になっているか。
9. リンク画像の**保存形式**と**画像解像度**が適切に設定されているか。(下記の「リンク画像の保存形式」参照)
10. ドキュメントサイズの外に**余分な画像や文字等**が残っていないか。
11. **補助→使用状況**で画像のリンクが**はずれていないか**。(下記の※図2参照) また**ダイビ基本書体以外の文字を使用していないか**(ダイビ基本書体以外を使用している場合、入稿時に別の書体に置き換えられてしまいます)。

●使用状況

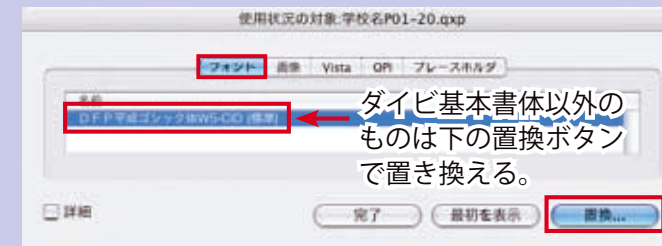
状況欄の画像が変更されているものを選択して下の更新ボタンをクリックし、OK に変える。

画像が移動されている場合も同じく選択後、下の更新ボタンをクリックして下図のブラウザ画面で元画像を指定、開くをクリックして OK に変える。

図 2



フォントの使用状況(使用フォント名)はここで見える。



ダイビ基本書体以外のものは下の置換ボタンで置き換える。



みんなが一つになった時

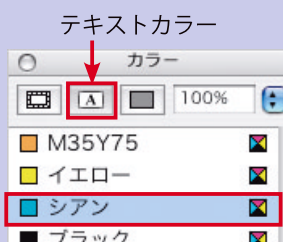
●直打ち文字のカラー

1. 編集ツールで編集したい

文字部分を選択。

2. カラーパレットをテキスト

カラーにして色を選択。



●リンク画像の保存形式

※画像解像度と保存設定は別紙「リンク画像の処理」参照

表 2

| バージョン | 保存形式 | .eps | .jpg | .tiff | .psd | .bmp | .gif |
|---------------------------|------|-----------------------------|------------------------|-------|------|------|------|
| QuarkXPress6.5 拡張子.qxp | | ○ 8bit/pixel JPEG-高画質 | ○ 画質9 高 ベースライン標準 | × | × | × | × |